

「にじのきらめき」の栽培方法（コシヒカリとの比較）

静岡県農林技術研究所水田農業生産技術科

特 徴

- ・コシヒカリより多収で倒伏に強いが遅れ穂が多い。
- ・コシヒカリより高温に強い。
- ・コシヒカリより穂いもち、縞葉枯病に強い。
- ・コシヒカリより白葉枯病にやや弱い。
- ・出穂期はコシヒカリより1～3日早い。
- ・成熟期はコシヒカリより1～3日遅い。
- ・穂発芽性はコシヒカリと同等で「難」。
- ・玄米のブラウン色が濃い特性を持つ。



左：にじのきらめき 右：コシヒカリ

栽 培 方 法

項 目		にじのきらめき	コシヒカリ
目標収量 (俵/反)		10	8
種子浸漬時間		120℃(例：20℃/日×6日間)	100℃(例：20℃/日×5日間)
植付時期		4月中旬～6月中旬	4月中旬～6月上旬
栽植密度 (株/坪)		45～60	
肥料	体系施肥	基肥6～8Nkg、穂肥4Nkg	基肥4Nkg、穂肥3Nkg
	穂肥時期	出穂前25日（幼穂長1～2mm）	出穂前18日（幼穂長10mm）
	※ 幼穂形成期(幼穂長1～2mm時)に茎数が400本/m ² 以下の場合は穂肥量を1.5倍にする。 ※ 前年の作付けで青未熟粒が多い場合は穂肥を削減する。		
	一発肥料	10.8Nkg	6.3Nkg
	※ 側条施肥の場合は1～2割減肥する。		
中干し	開始	田植後30～40日頃	
	終了	1週間程度。葉色4以下に落とさない。強めの中干しは青未熟粒・茶米の発生を助長する。	1～2週間程度。葉色3.5以下をめざす。出穂前20～25日頃には入水する。
刈 取 適 期 (出穂後の日平均気温の積算値)		出穂後36日～43日程度 1,100～1,250℃	出穂後35日～40日頃 955～1,096℃

※ 青未熟粒が多い場合は収穫時期を遅らせ、茶米が多い場合は収穫時期を早める。

※ 葉色が濃いので紋枯病、カメムシ類、コブノメイガ、ウンカ類に注意する。

※ 登熟期間の高温が予想される場合は、出穂前後に1～2Nkg/10a追肥する。